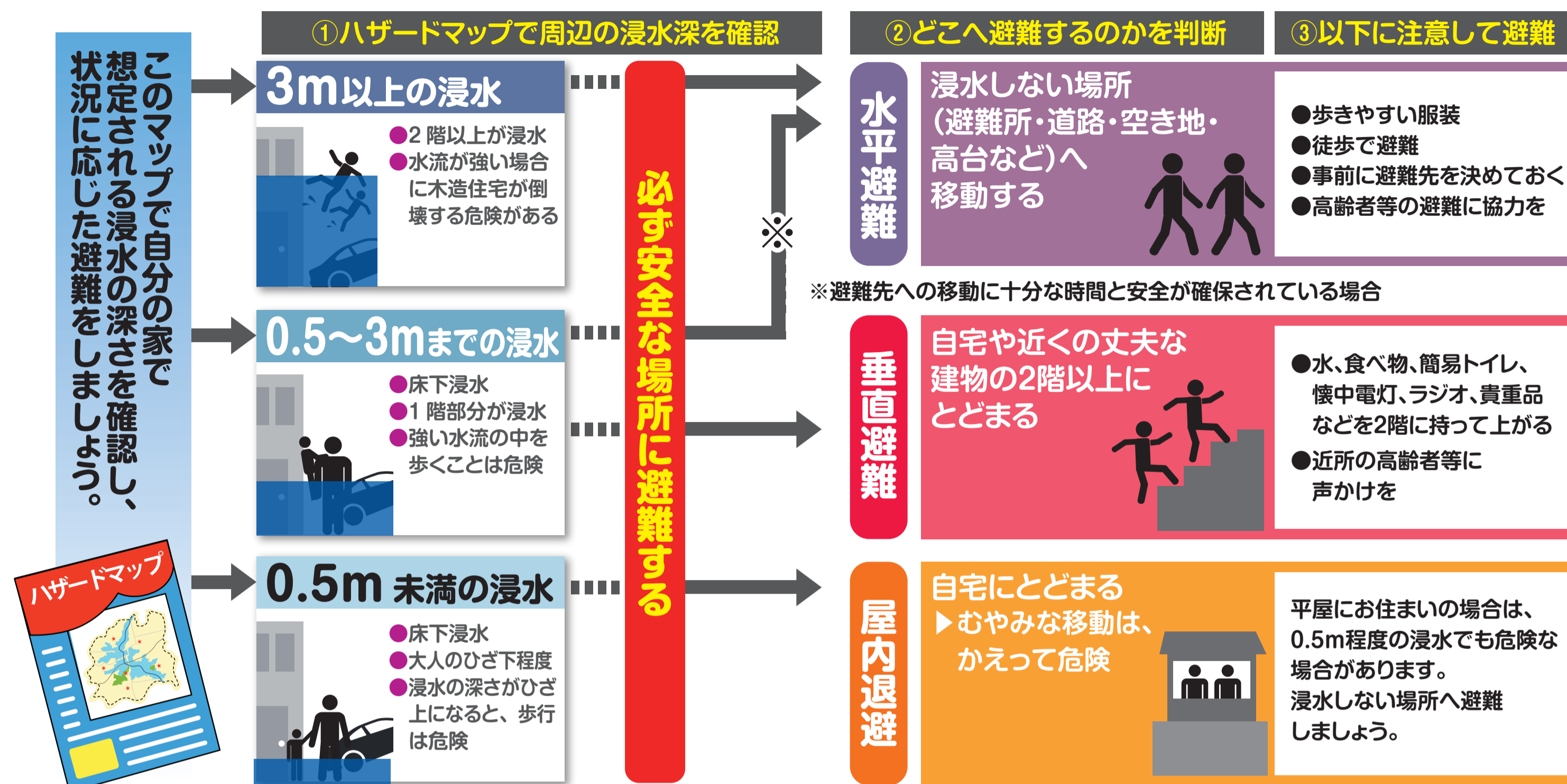


状況に応じた避難をしましょう

ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

命を守るための基本行動



本村溜池ハザードマップ

問合せ先 木城町役場 産業振興課 0983-32-4739

この「ため池ハザードマップ」は本村溜池堤体が万が一決壊した場合に想定される浸水状況や避難に役立つ情報をまとめたものです。迅速かつ安全に避難するために役立ててください。

ため池決壊について

災害事例 広島県では…
平成30年7月豪雨では、西日本の2府4県で32か所のため池が決壊しました。特に広島県では、ため池上部のグラウンドの崩壊による土砂流入によってため池が決壊し、死者1名、負傷者4名の被害がでました。

大雨が降り続いたり、地震が発生した時は、ため池が決壊する恐れがありますので、決壊する前に早めの避難を心がけてください。

行政からの呼びかけ(避難情報)に注意しましょう

★警戒レベルとは★
災害発生危険度と、とるべき避難行動を、町民の皆様が直感的に理解するための情報です。木城町は気象庁からの情報を基に、次の警戒レベルで避難のタイミングをお伝えします。町民の皆様も日頃より避難準備の心構えをお願いします。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に 災害が発生している状況 です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	災害発生情報 ※災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令(町が発令)
警戒レベル4 全員避難	速やかに危険な場所から避難先へ避難 しましょう。公的な避難所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告・避難指示(緊急) ※地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令(町が発令)
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 (町が発令)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報・大雨注意報等 (気象庁が発表)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)

避難行動の心得を確認しましょう

避難する前に
ガスの元栓・電気のブレーカーをチェック

避難は徒歩で
決められた避難所へできるだけ集団で避難
非常持ち出し品を忘れずに

安全なルート①
避難するときは、地すべりやがけ崩れなど土砂災害のおそれのある箇所は避ける

安全なルート②
避難するときは、高い道路を選び、水路などに十分注意

協力し合って
避難するときは、近所のお年寄りや障がい者などに声かけ協力

NTT災害用伝言ダイヤル
伝言の録音 **171+1+** **被災地の方の電話番号** →録音
伝言の再生 **171+2+** **被災地の方の電話番号** →再生

ため池ハザードマップの活用方法(日頃から備えましょう)

- 想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。**
 - 浸水深や氾濫水の到達時間に応じた避難を考えましょう。
 - 災害時の様々な事態をイメージしましょう。
- わが家の避難場所を決めておきましょう。**
 - 浸水深や氾濫水の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょう。
 - 浸水深が0.5m以上(1階の床上相当)の区域は、緊急避難できる身近な場所も探しておきましょう。
- わが家の避難場所までの避難経路を考えましょう。**
 - 避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
 - 避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を探しておきましょう。
- 日頃から家族や地域で話し合しましょう。**
 - 災害時に協力し合えるよう、日頃から家族や地域で役割などを話し合しましょう。
 - 避難の際に支援が必要な高齢者など配慮が必要な人への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。
- 防災情報の入手先を確認しておきましょう。**
 - ため池決壊の原因となる大雨等の気象情報や防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょう。
- 市町村、県の公表している他のハザードマップ等もご覧ください。**
 - 市町村、県では各種防災マップ「ハザードマップ」、「浸水想定区域図」等公表しています。このマップと併せて活用し、急な事態へ備えましょう。